

衛生管理の立場から 産廃処理に携わる



モリ環境衛生センター株式会社

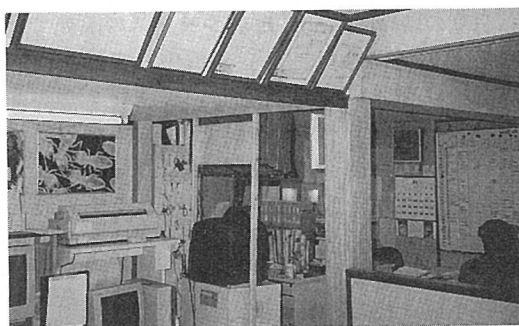
(愛知県豊田市)

森延博 社長

名鉄豊田市駅の近くに居を構えるモリ環境衛生センターは、ネズミや害虫の駆除を主業務とした会社です。森社長にお話しを伺いました。森社長（以下、森に略）『うちは、もともと社団法人日本ペストコントロール協会と社団法人日本しろあり対策協会に加盟しており、建築物のネズミ衛生害虫の駆除を主体としています。一般廃棄物の収集は古くからやっていますが、産廃は、取り扱いを始めて10年くらいになります。また病院等とおつきあいをさせていただいている中で、感染性産業廃棄物の収集を取り扱う必要が出てきましたので、平成3年ころ特別管理産業廃棄物の許可も取得しました。具体的には病院の院内感染防止という仕事を以前からしてまして、手術室から医療廃棄物を運ぶエレベーターと患者さんの運ばれるエレベーターが一緒なのは問題があるなどといった衛生管理面の指導をしているうちに、そんなことだったら感染性廃棄物の処理をしてくれ、と頼まれて現在に至っています。』

— 衛生管理の分野では長いんですね。そうしますと、産廃との接点はこういったところから始まったのですか。

森『実際の業務としてはネズミ等の防除や、ビル管理に伴った衛生管理、季節によっては蜂の巣の駆除等が多いですね。廃棄物の収集も飲食店のネズミ、ゴキブリの駆除をしているうちに一般廃棄物の残飯を集めるようになりました。そのうち、工場関係の食堂の取引が始まって、工場に出入りしていたら切屑が出てきて、産廃だけど持って行って、ということになってだんだん産廃の収集運搬の仕事が増えてきたんです。ですが、けっしてうちの業務の中では多



社名/モリ環境衛生センター株式会社
所在地/愛知県豊田市昭和町4-24
代表者/森延博 創業/昭和51年 従業員/13名 TEL/0565 (32) 0356
事業所/本社
営業種別/収集運搬 取扱物品/汚泥、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材、感染性産業廃棄物

いほうではないですね。衛生管理業務に付随して産廃の収集が必要になってきたといったかんじです。』

— 衛生管理と産廃処理の相違点などはありますか。

森『例えばネズミの駆除では、100%止めきるのか、90%の駆除しかできないのかで技術力の差が歴然としますし、こういった薬品を使うのかなどで料金差とか価格の根拠、付加価値なども提示できますが、産廃の処分費は、付加価値のつけようがありませんからね。あそこどこでなぜ値段が違うといっても答えられませんよ。また、衛生管理は特に顧客との信頼関係が強く要求されますので、突発的な発注をされる方よりも長いおつきあいをさせていただく方が次第に多くなってきます。年間単位で管理契約を結ぶ場合が多く、どちらかといえば急な発注がある産廃よりも、定期的な一般廃棄物の収集と似ているような気がします。』